

# 第15章 冷戦と第三世界の独立

## 1. 戦後世界秩序の形成

### <国際連合の成立>

- 1941.8 大西洋憲章……チャーチル、ローズヴェルトの会談
- 1944.8-10 \_\_\_\_\_ ……米・英・中・ソにより憲章草案作成
- 1945.4 \_\_\_\_\_ ……連合 50 国、**国際連合憲章**を採択
- .10 **国際連合**成立

### 戦後経済……1944.7 **ブレトン・ウッズ協定**

- IMF (国際通貨基金)、IBRD (国際復興開発銀行)
- GATT (関税及び貿易に関する一般協定、→現 WTO 世界貿易機構)
- ドルを基軸通貨とする固定為替相場制 (~ 1973 変動相場移行)

### <戦後処理>

- ▶ **パリ講和条約(1947)**……イタリア、フィンランド、ハンガリー、ブルガリア、ルーマニア対象
- ▶ **ドイツ・オーストリア**  
それぞれ米・英・仏・ソ4国で分割占領、ベルリン・ウィーン市も同様  
\_\_\_\_\_ **国際軍事裁判** (ゲーリングら死刑)  
ドイツの東側国境…… \_\_\_\_\_ 川・ \_\_\_\_\_ 川  
以東はポーランド領となり、ドイツ人は強制移住させられる。  
→ポーランドの東側国境はカーゾン線 (ベラルーシ等はソ連領)
- ▶ **日本** \_\_\_\_\_ **国際軍事裁判**……東条英機ら死刑  
事実上アメリカ1国による占領 (GHQ、マッカーサー)  
財閥解体・農地改革など経済民主化、平和憲法制定  
→中華人民共和国成立、朝鮮戦争勃発でアメリカの政策転換  
↓  
1951.9/8 \_\_\_\_\_ **講和会議**……48 カ国と講和条約調印  
インドネシアは調印したが批准せず  
ソ連・ポーランド・チェコスロヴァキアは出席したが調印せず  
インド・ビルマ・ユーゴスラヴィアは招かれたが出席せず  
中華人民共和国・中華民国は招かれず  
同日、日米安全保障条約も調印。
- 1952 中華民国・インドと平和条約。ユーゴ、ビルマとも戦争状態終了
- 1956 **日ソ共同宣言** (平和条約は未締結。北方領土問題未解決)
- 1957 インドネシアと平和条約。チェコ・ポーランドと国交回復、戦争状態終了
- 1965 日韓基本条約 (52 年、韓国軍、一方的に竹島上陸)
- 1972 中華人民共和国と日中共同声明、国交正常化→中華民国 (台湾) と断交
- 1978 **日中平和友好条約**

※インド・中国など多くの国が賠償金請求放棄

フィリピン・インドネシア・ビルマ・南ヴェトナムには賠償金支払い  
(総額10億ドル、'76年完了。日本の商社からの物資供与の形 = 金は商社の懐へ)

# 冷戦 (Cold War) 年表

西側 資本主義陣営	東側 社会主義陣営
1946.3 チャーチル「 _____ 」演説	東欧諸国の社会主義化
1947.3 _____ (封じ込め政策) ギリシア・トルコに経済援助	46.1 アルバニア、.2 ハンガリー、.9 ブルガリア 47.12 ルーマニア、48.2 ポーランド、チェコ (下参照)
.6 _____ (ヨーロッパ経済復興援助計画)	1947.9 _____ (共産党情報局) 仏伊の共産党も加盟、ユーゴは翌年脱退
1948.3 _____ (ブリュッセル条約、英・仏・ベネクス3国)	1948.2 チェコ政変
.4 OEEC (ヨーロッパ経済協力機構) 発足 → '61 OECD マーシャル・プランを 16 カ国が受け入れ	
1948.6/24 ~ '49.5/12 ドイツ西側占領地の通貨改革に対し、ソ連が反発し西ベルリンへの陸上交通遮断 ⇔ 西側諸国は西ベルリンへ生活必需品を空輸して対抗 ( <b>ベルリン空輸</b> )	
1948.8 _____ 建国	1948.9 _____ (北朝鮮) 建国
1949.4 _____ ( _____ ) 発足	1949.2 _____ (経済相互援助会議) 発足
_____ 中華民国 (国民党) 政府は台湾へ	.10/1 _____ 建国
.5/23 _____ (西独) 建国	.10/7 _____ (東独) 建国
1950.5 _____ (仏外相による) '51.4 ECSC (ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体)	1950.2 中ソ友好同盟相互援助条約
1950.6 ~ 1953.7 _____	
1951.9 サンフランシスコ講和条約 (対日本)	1953.3 スターリン死去
1954.9 SEATO (東南アジア条約機構)	1954.4 _____ (朝鮮・インドシナ問題) 1955.7 ジュネーヴ四巨頭会談
↓	
1955.10 西独主権回復、NATO 加盟	1955.5 _____ 発足
.10 オーストリア国家条約 (永世中立国)	
.11 METO (バグダード条約機構) → '59 CENTO (イラクが革命で脱退、本部アンカラ)	1956.2 _____ 第一書記「 _____ 」 → “雪解け” へ

※ SEATO、METO など……米アイゼンハワー大統領 (国務長官ダレス) による「 \_\_\_\_\_ 政策」  
OAS ('48 米州機構)、NATO ('49)、ANZUS ('51)、日米安保 ('51)

## アジア情勢

### ▶ 中国……1946.6～ 国共内戦

1949年10月1日 \_\_\_\_\_ 建国宣言  
\_\_\_\_\_ 国家主席(～ 59 辞任)・党主席(～ 76 死)  
\_\_\_\_\_ 首相(國務院総理、～ 76 死)

↓

1949.12 中華民国国民政府は台湾へ。 \_\_\_\_\_ 総統(1948～75 死)

※国際連合の議席(安保理常任理事国)は 1971 年まで中華民国が保有

※中華人民共和国に対する諸国の承認

1949 インド、ビルマ  
1950 イギリス、アトリー労働党内閣  
1964 フランス、ドゴール大統領  
1971.7 アメリカ、キッシンジャー大統領補佐官(後の國務長官)、秘密裏に訪中  
ニクソン大統領もこれを公表し、自身の訪中予定発表  
↓  
1971.10 国際連合総会、中華人民共和国の加盟と台湾政府追放を可決  
1972.2 ニクソン大統領、訪中  
.9 日本、田中角栄首相訪中、国交正常化  
.10 西ドイツ、ブランド政権

### ▶ 朝鮮半島……1945.8 日本支配終了、米ソによる南北分割占領(北緯 \_\_\_\_\_ 度線) ソ連参戦直後に米ソ間で協議し決定

1948 年.8/15 \_\_\_\_\_ 建国……大統領 \_\_\_\_\_ (イ・スンマン、～'60)  
三・一運動の際、上海に成立した大韓民国臨時政府大統領。  
建国後は反共独裁。1960 年、大統領選挙不正に対するデモ暴動で失脚。  
1948 年.9/9 \_\_\_\_\_ 建国  
\_\_\_\_\_ 首相(キム・イルソン、-72)・国家主席(72-94 死)  
1912 生、幼時に満州移住。30 年代に中国共産党入党。抗日運動に参加。

1950年6月25日 \_\_\_\_\_ 勃発……北朝鮮軍、突如南へ侵攻。

6/27 国連安全保障理事会、「北の侵略」と可決。国連軍結成。  
(常任理事国のソ連は棄権したため拒否権発動できず、全会一致。)

6/28 北朝鮮軍、ソウル占領  
↔ 国連軍苦戦、8 月末までに釜山周辺まで追い詰められる。  
国連軍総司令官 \_\_\_\_\_

9/15 国連軍(米軍)、 \_\_\_\_\_ 上陸。→ 10 月、38 度線を越え北上。

10/25 中華人民共和国、 \_\_\_\_\_ を派遣し北朝鮮軍とともに反撃。  
(これに対し満州空爆・原爆使用を説く強硬派のマッカーサー更迭、51.4)

以後、38 度線を挟み戦線膠着。

1953 年.7/27 板門店にて休戦協定……以後、軍事境界線が南北の国境に

### ▶ インド

1947 インド独立法……インド・パキスタンに分割し両国憲法成立まで英連邦内自治領

1948.1 \_\_\_\_\_ 暗殺(1つのインドを説いていたが熱狂的ヒンドゥー教徒により暗殺される)

1950 インド共和国成立……首相 \_\_\_\_\_ (国民会議派、～'64)

・パキスタン……'47 自治領、初代総督 \_\_\_\_\_ (ムスリム連盟、～'48 死)  
1956 パキスタン・イスラム共和国(英連邦内独立国、SEATO 加盟)

・セイロン島……'48 英連邦内自治領セイロン→ 1972 スリランカ共和国(英連邦内独立国)

・バングラデシュ……東パキスタン → 1971 バングラデシュ独立宣言

### ▶ イラン

1951 \_\_\_\_\_ 首相就任。石油国有化法 → 英国系石油会社を国有化

⇕

1953 国王パーレヴィ 2 世、米・英と結び上からのクーデタ。モサデク追放  
60 年代に「白色革命」= 西欧風近代化、開発独裁

### ▶ インドネシア

1945.8/17 インドネシア共和国独立……1947-49 オランダ・インドネシア戦争後、独立確定  
\_\_\_\_\_ 大統領(国民党、-67)……AA会議・非同盟諸国のリーダー  
共産党とも協力 → 反米・親中政策へ → 1965 国際連合脱退

⇕

1965 九・三〇事件……軍による共産党弾圧(同党壊滅)

1966 国連復帰、1967 スカルノ失脚

1968 \_\_\_\_\_ 大統領(-1998、軍司令官、九・三〇事件首謀者)

### ▶ ヴェトナム

1945.9/2 ヴェトナム民主共和国独立 (← 8/25 日本の傀儡だった阮朝保 <sup>バオダイ</sup> 大帝退位)  
\_\_\_\_\_ 大統領(共産党、-69 死)、首都 \_\_\_\_\_

1946-54 第 1 次インドシナ戦争……再植民地化めざすフランスと戦う

⇔ 1949 ヴェトナム国成立(フランスの傀儡)、首都 \_\_\_\_\_、元首バオダイ

1954. 5/7 \_\_\_\_\_ の戦い……フランス大敗

. 5/8 \_\_\_\_\_ 極東平和会議においてインドシナ問題扱い開始

. 7/21 ジュネーヴ休戦協定

フランスの東南アジア撤退決定 ⇔ アメリカは調印せず  
インドシナ 3 国独立、ヴェトナムは北緯 \_\_\_\_\_ 度線で南北分割

↓

南……1955 ヴェトナム国首相 \_\_\_\_\_、バオダイ追放  
\_\_\_\_\_ 建国、初代大統領として独裁(～'63)  
↑ アメリカの軍事援助

## 雪解け

1952 米大統領選挙、朝鮮戦争停戦を公約に \_\_\_\_\_ 当選(共和党、'53-61)  
1953年3月 **スターリン死去**

### 1954年

<sup>4/28-5/2</sup> コロンボ会議……インド、セイロン、インドネシア、パキスタン、ビルマ  
宣言 ①. インドシナ停戦、②核兵器禁止(←<sup>3/1</sup> 第五福竜丸事件)  
③. 中華人民共和国の国連加盟、④. AA会議開催

※アジア・アフリカ新興国らによる「第三勢力」の形成、平和共存主張

<sup>4/26-7/21</sup>

<sup>4/26-6/15</sup> 朝鮮問題……米・英・仏・ソ・中華人民共和国  
意見まとまらず、軍事停戦ラインが事実上の国境に  
<sup>5/8-7/21</sup> インドシナ問題(←<sup>5/7</sup> ディエンビエンフーの戦い)  
上記5国+ヴェトナム民主共和国、ヴェトナム国、ラオス、カンボジア  
<sup>7/21</sup> ジュネーヴ停戦協定……インドシナ3国独立確定、フランス撤退  
ヴェトナムを北緯17度で南北分割、2年後の統一選挙実施規定  
↓  
※アメリカは調印せず……ドミノ理論  
ヴェトナムから他2国への共産主義波及を警戒、南ヴェトナムへの干渉

<sup>6/28</sup>

\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_会談……\_\_\_\_\_発表  
①. 領土主権の尊重、②. 相互不可侵、③. 内政不干渉  
④. 平等互惠、⑤. 平和共存

### 1955年

<sup>4/18-24</sup> 第1回 \_\_\_\_\_ (於インドネシア・\_\_\_\_\_, 29国参加)  
\_\_\_\_\_, ネルー、周恩来らが主導、**平和十原則**発表

<sup>7/18-23</sup>

\_\_\_\_\_ アイゼンハウアー(米)、\_\_\_\_\_ (英)、\_\_\_\_\_ (仏)、\_\_\_\_\_ (ソ)

### 1956年

<sup>2/25</sup> ソヴィエト共産党第一書記 \_\_\_\_\_、『スターリン批判』演説  
第20回党大会で個人崇拜・独裁・粛清を批判

↓

[ポーランド] <sup>6/28</sup> ポズナニ暴動、<sup>10/21</sup> ゴムウカ第一書記復帰(-1970) 反スターリン化

[ハンガリー] **ハンガリー事件** <sup>10/23</sup> ブダペストでデモ隊が秘密警察と衝突

<sup>10/24</sup> \_\_\_\_\_ 首相復帰(ティト議長)、ワルシャワ条約機構脱退図る

⇔ **ソ連、軍事介入し鎮圧**、ナジ首相逮捕('58 処刑)

以後、親ソのカダル政権続く(-1988)

↑

※英仏のスエズ侵攻が同時進行のため西側諸国の批難も説得力無し

## ※核兵器の歴史

原子爆弾……1949 ソ連、1952 英、1960 仏、(1964 中国、1974 インド)

水素爆弾……1952 米が初実験、1953 ソ連、(1958 英、1967 中国、1968 仏)

1954.<sup>3</sup>月 米、ビキニ水爆実験 → **第五福竜丸事件**

1955.<sup>8</sup>月 第1回原水爆禁止世界大会(広島)

1957.<sup>10</sup>月 ソ連、人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功  
=大陸間弾道弾(ICBM)が可能に(→1959 アメリカも)

1958.<sup>3</sup>月 ソ連、フルシチョフ首相就任直後に、核実験停止宣言  
→<sup>8</sup>月 米英も条件付きで1年核実験停止

## 再緊張→緊張緩和へ

### 1959年

<sup>1/1</sup> \_\_\_\_\_ 成功…… \_\_\_\_\_、ゲバラら、親米バティスタ政権打倒

<sup>9/25-27</sup> **キャンプ・デーヴィッド会談……フルシチョフ訪米**、アイゼンハワーと  
翌年パリでの会談を約束

### 1960年

<sup>5/1</sup> **U2型機事件……**ソ連が、領空侵犯したアメリカ偵察機U2を撃墜  
<sup>5/16</sup> パリ会談席上、フルシチョフがアメリカを批難し会談流会

<sup>9~12</sup>月 第15回国連総会 = “**アフリカ総会**”(“アフリカの年”17カ国独立)  
緊張緩和宣言満場一致採択

### 1961年

<sup>5/1</sup> ハバナ宣言……キューバ、社会主義国宣言(←<sup>1</sup>月 米、キューバと断交)

<sup>6</sup>月 ウィーン会談……米 \_\_\_\_\_ 大統領、フルシチョフと初会談  
ドイツ問題について、進展無し

<sup>8/13</sup> “ \_\_\_\_\_ ” 構築……東独による労働者流出防止(この年まで400万人)

<sup>8/30</sup> ソ連、3年ぶりに核実験再開

<sup>9/1</sup> 第1回 \_\_\_\_\_ ……於 \_\_\_\_\_ (ユーゴスラヴィア)、25国参加  
\_\_\_\_\_ (ユーゴ)、\_\_\_\_\_ (インド)、\_\_\_\_\_ (エジプト)、\_\_\_\_\_ (インドネシア)

### 1962年

10月 “ \_\_\_\_\_ ”

<sup>10/14</sup> 米U2偵察機、キューバにソ連のミサイル基地発見

<sup>10/22</sup> ケネディ大統領、キューバ海上封鎖声明、<sup>10/24</sup> 海上封鎖開始

<sup>10/28</sup> フルシチョフ譲歩、ケネディ宛書簡でミサイル基地撤退を表明

### 1963年

<sup>8</sup>月 \_\_\_\_\_ (大気圏内外水中核実験停止条約) 締結 米英ソ調印後、約100国が続く  
→緊張緩和( \_\_\_\_\_ )、KK時代(Kennedy、Khrushchov)

しかし <sup>11/22</sup> ケネディ暗殺

1964年 <sup>10/15</sup> フルシチョフ失脚 →多極化の時代へ